

砂川市立 小中学校 統合準備だより

事務局 砂川市教育委員会学校再編課

第22号
令和6年6月
発行

義務教育学校「砂川市立砂川学園」の建設工事について

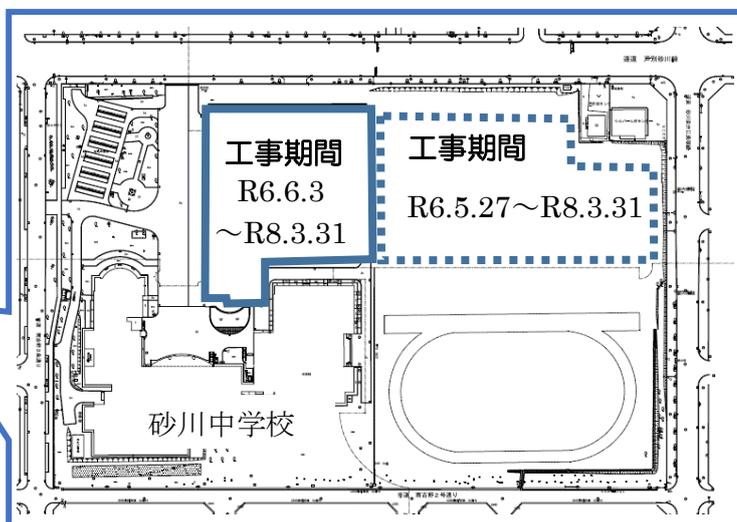
令和6年5月より砂川中学校の学校用地内及び南側市有地において、砂川学園の建設に向けた準備工事を行っています。学校用地内での杭製作他準備工事に続いて、建築本体工事（～令和8年3月31日まで）が始まります。

工事にあたりましては、周辺環境に配慮しながら安全施工に努めますので、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

●工事エリア

杭製作他準備工事

(工期：R6.5.27～9.6)



仮設駐車場工事

(工期：R6.5.15～5.31)

●工事スケジュール

仮設駐車場工事	5/15  5/31
杭製作他準備工事	5/27  9/6
建設本体工事	7月中旬  R8.3.31
砂川学園開校	R8.4.1 
陸上グラウンド工事	R7 年度発注予定 
砂川中学校解体工事	R8 年度発注予定 
西側駐車場工事	R8 年度発注予定 
野球グラウンド工事	R9 年度発注予定 

砂川市小中一貫教育推進委員会 令和6年度の新体制でスタート!

○第1回 砂川市小中一貫教育推進委員会 開催

4月30日(火)、第1回砂川市小中一貫教育推進委員会(以下「推進委員会」)が開催され、小中一貫教育の導入・推進に向けた令和6年度の取組がスタートしました。推進委員会は学校関係者で構成し小中一貫教育に関する調査・協議を行う機関として令和3年度から設置されており、この度、教員の異動などに伴い新体制となりました。



▲推進委員会の様子

●令和6年度 砂川市小中一貫教育推進委員会 委員名簿

役職	氏名	学校名・職名
会長	神島 亘 基	豊沼小学校 校長
副会長	樽石 哲也	中央小学校 教頭
委員	木内 一 樹	砂川小学校 校長
	鳥谷部 賢 太	中央小学校 校長
	佐藤 浩 之	空知太小学校 校長
	中野 大 吾	北光小学校 校長
	小林 晃 彦	砂川中学校 校長
	高野 隆 広	砂川高等学校 校長
	木下 浩 太	砂川小学校 教頭
	納口 卓	豊沼小学校 教頭
	友利 真 一	空知太小学校 教頭
	植松 寿 仁	北光小学校 教頭
菅原 寿 一	砂川中学校 教頭	

○4つの特別部会を5つのワーキンググループに再編

令和5年度までは推進委員会に附属する4つの特別部会を設置して、小中一貫教育に関する具体的な検討や事業の企画・運営を行ってきました。令和6年度は、小中一貫教育の本格導入や砂川学園の開校に向けて、多くの事項にわたり詳細を決めたり事業を進めたりする必要があるため、5つのワーキンググループ(以下「WG」)に再編しました。各WGは砂川市内の全小・中学校の教員で構成され、次の事項に取り組みます。

WG名 (人数)	主な取組
学校経営WG (7人)	砂川学園の土台となる学校経営方針及び校務分掌、特別委員会などの組織や人的配置、学校行事のあり方の方向性などについて協議・作成する。
教育課程WG (10人)	9年間を貫く視点から、各教科・領域の年間指導計画や道徳科の別葉、全体計画、年間行事予定表、日課、特別教室割当などについて協議・作成する。 小中一貫教育の本格導入に向けて各種取組を検討する。
研究推進WG (8人)	令和8年度からの校内研究について、研究主題や主題設定の理由、研究内容や研究推進計画等の枠組み、各教科の指導系統表などについて協議・作成する。
指導活動WG (14人)	9年間の児童生徒の発達段階を考慮した校則等の「きまり」や、児童会生徒会の組織や活動内容・活動計画、学校行事や異学年交流の詳細などについて協議・作成する。
学校連携WG (15人)	これまで取り組んできた5校交流会や合同遠足、中学校教員の乗り入れ授業、家庭学習チャレンジ週間などの学校間の交流・連携事業について、内容の充実に努めながら、中1ギャップ解消などを目指す取組を推進する。

○令和6年度 砂川市小中一貫教育推進計画の策定

令和5年4月に、砂川市として小中一貫教育を実現するためにすべきことと、より発展的な小中一貫教育を行うための考え方を明らかにした「砂川市小中一貫教育推進計画」を初めて策定しましたが、今回、令和6年度版を策定しました。

以下は、令和8年度における砂川学園のスムーズな開校に向け、全ての学校において共通して取り込む令和6年度の重点です。

(1) 基礎学力の定着と学習習慣の向上、評価分析

- 全国学力学習状況調査結果の公表
- 各学校の学力調査結果の分析及び学習指導の改善
- オンラインによる授業参観を通して、教職員が主体的に研修できる機会の設定
- 学習スタイルの統一（砂川スタンダード）による小中切れ目のない学習指導の実現
- 家庭学習の習慣の定着を目指す取組（家庭学習チャレンジ週間の実践）
- 義務教育9年間を見通した各教科学習内容系統表の作成
- 砂川市「学習スタンダード」による授業改善に向けた「小中合同研修会」の実施
- 小中連携した英語学習の実施

(2) 砂川市GIGA スクール構想の推進

- 一人一台端末の授業時及び自学自習時における活用
- 対面指導とオンライン教育とを最適に組み合わせた授業改善による学びの質の向上
- 一人一台端末の活用スキル系統表の作成

(3) 不登校等の生徒指導上の諸課題の減少と未然防止

- 小中連携した児童・生徒の情報共有
- スクリーニングを活用した教育相談体制の確立
- 一人一台端末を活用した、不登校児童生徒へのオンラインによる学習支援の実施

(4) 幼保・小中（6校）の連携

- 小学校連携、小中連携の事業の実施
 - ・小学校5校交流会の拡充（4年生・5年生・6年生で実施）
 - ・小学校学年間交流日の設定
- 小学校5校合同遠足の実施（5年生・6年生で実施）
- 中学校教員の乗り入れ授業の拡充
 - ・小学校1年生、2年生での「外国語活動」の実施
 - ・5年生での実施及び、6年生での複数回実施
- 中1ギャップ解消を目的とした模擬授業体験、中学校での学校説明会等の工夫

(5) ふるさと砂川を誇りに思う心の育成

- 9年間を見通した「キャリア・パスポート」の運用・改善
- 9年間で貫く「総合的な学習の時間」のカリキュラム作成

「令和6年度 砂川市小中一貫教育推進計画」は市ホームページにて公開しています。

砂川学園の制服・ジャージの製造事業者が決定しました！

3月26日に統合準備委員を審査員として、砂川学園の制服とジャージの製造事業者を選定する「砂川市義務教育学校制服等製造事業者選定公募型プロポーザルプレゼンテーション審査」を実施し、制服・ジャージの製造事業者を菅公学生服株式会社に決定しました。

今後は、砂川学園の制服・ジャージのデザインを決定するため、各小中学校のPTA役員からご意見などを伺いデザイン案を作成します。



砂川学園の修学旅行と宿泊学習

修学旅行や宿泊学習が行われる時期を迎え、「砂川学園の修学旅行はどこへ行くのかな？」「宿泊学習は何年生で行くのだろう？」と話題になることがあると思います。推進委員会では、修学旅行と宿泊学習の大まかな方向性を次のとおり決めていますのでお知らせします。

- 修学旅行は6年生と9年生で行う。
- 宿泊学習は5年生と8年生で行う。
- 集団生活のマナーを身に付けたり、授業で学ぶことを探究する活動を行う行程とする。
- 行程や予算、小遣い額などは、現在と大幅な違いがないように留意する。
- 9年生の修学旅行と8年生の宿泊研修は、現在の砂川中学校の行程を踏まえて今後検討していく。
- 6年生の修学旅行と5年生の宿泊学習の行程は次のとおり。

6年生 修学旅行 < 6月第3週（水・木）>

1日目：砂川学園 → ウポポイ → 有珠山 → ルスツリゾート（宿泊）
2日目：ルスツリゾート（グループ行動） → 見学先（検討中） → 砂川学園

5年生 宿泊学習 < 6月第4週（水・木）>

1日目：ネイパル砂川で調理体験、環境講話、屋外学習など行い宿泊
2日目：海洋センターでカヌー・ボートなどの体験活動

★小中学校統合の関係は、市ホームページでも公開しています。

URL：https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/kosodate_kyouiku/

kyouikugyousei/2020-0827-1549-62.html 右のQRからもアクセスできます



◆お問い合わせ 砂川市教育委員会学校再編課

住所：砂川市西7条北2丁目1番1号

電話：0125-74-4313 FAX：0125-74-8798 E-mail：saihen@city.sunagawa.lg.jp